

飛騨牛、台湾へ魅力発信

全農岐阜 オンラインでPR

県農林水産物輸出促進協議会とJA全農岐阜は、飛騨牛の魅力在台湾のメディアやバイヤーに向けて伝えるプロモーションを、オンラインで実施した。

飛騨牛は2017年から台湾に輸出され、高級レストランなどで提供されている。コロナ禍で外食産業が苦境に立たされる中、今回新たな販路拡大を目指して企画した。

プロモーションは、台湾の食肉卸業者「美福(メイフル)社」と連携し、同社が所有するホテルとJA会館(岐阜市宇佐南)の2会場をオンラインでつないで行われ、現地メディアやシェフ、バイヤーら約40人が参加した。JA全農岐阜の西村寿文県本部長は「台湾は飛騨牛の輸出先として重要な国」と話し、農場や加工施設を紹介する動画を流

して魅力をPRした。
JA全農岐阜事業開発課は「コロナ禍で現地に赴いての活動が制限される中、オンラインでのプロモーションをさらに発展させていきたい」と話していた。
(山田雄大)



飛騨牛の魅力をオンラインで台湾のメディアなどに伝える西村寿文県本部長
＝岐阜市宇佐南、JA会館